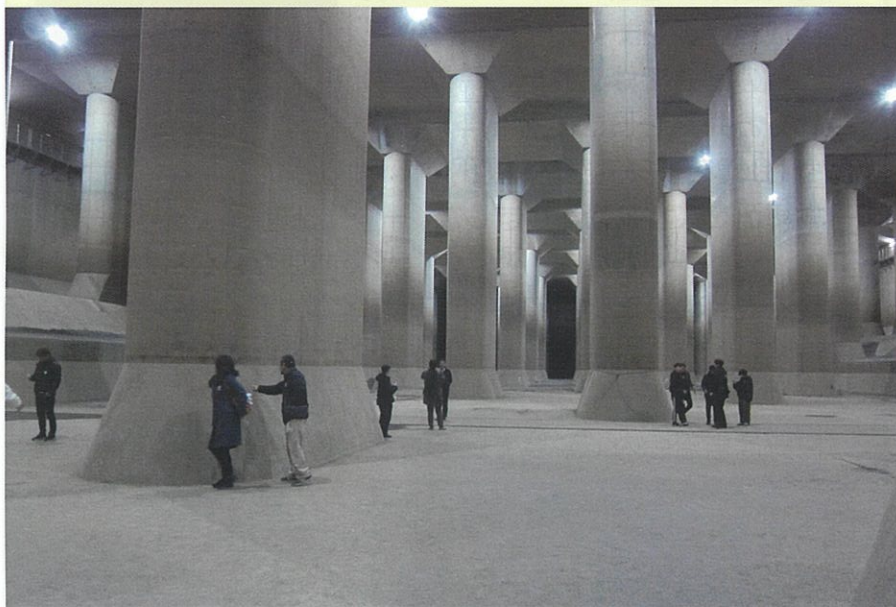




首都圏外郭放水路で 浸水被害が大幅に減少



調圧水槽
長さ177m、幅78m、高さ18m
地下調整水槽の巨大さに圧倒されながら



20台のカメラでの集中監視
5本ある立坑からの状況を見る
令和5年にも数回浸水防止に寄与

令和6年春季号 発行者／小山 正弘 編集／あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

久しぶりの自己紹介

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 小山 正弘



私が連合会長に就任させて
いただいていた、もう一期・二
年になります。この間、少し
でも皆さんに町内会・自治会
や連合会のことを身近に感じていただきた
いと思ひ、会報に様々書かせていただきました。少
しは身近に感じていただけたでしょうか？
ついでに私のことも知っていただきた
いと、「大根のおろき」「髭剃りと靴下」に
続き、一年ぶりに自己紹介文を掲載させて
いただきます。

自己紹介(その3)

自慢〜マーボ豆腐の開発

今はカレー屋の店主ですが、子供のころから
包丁を持つのが怖くて、料理など全くし
ませんでした。

それが地域の盆踊りなどの模擬店で焼きソバ
を作らされたりしていると、だんだん料理が面
白くなり、家でも料理をするようになりまし
た。そんなある時、大好きなマーボ豆腐を作
ろうと思ひ立ち、作ってみました。でも、料理の知識
も経験もなく、どうやったら作れるんだろ
う？豆腐やネギや肉を炒めるのはわかりまし
た。でもあの赤い色は何だろう？家にある調味料
で赤いものはトマトケチャップです…作って
みましたが、マーボからは程遠い、ただのト
マト煮です。

それから、ソースを入れてみたり、醤油を入
れてみたり、しつこく試作を繰り返しました。
そして失敗作を食べました。

そして3ヶ月くらい失敗を繰り返した後、で
きたんです!!

ケチャップをよく煮て、めんつゆを入れる
のです。これに一味唐辛子を入れて…みなさん
信じてないでしょうけど、味はマーボです。嘘
だと思ふ人は作ってみてください。

その後、ごま油や片栗粉を入れることを知り
ました。

このマーボは全く辛いものでもないので
す!唐辛子を入れなければいいのです。

今でもたまに作ります。このマーボは娘や辛
い物が苦手な母にも好評でした。

こうしてみると、私はだいぶしつこい性格の
ようです。簡単にはあきらめません。未だに開
催できずにいる「連合会の若い人が参加したく
なるイベント」をいつの日か開催しますよ!

能登半島地震に学ぶ

中村自治会長 宮崎 慶一

1月1日、能登半島直下で震度7を記録する地震(内陸地殻内地震)が発生しました。断層の地殻変動による地盤の隆起や陥没、横ずれ等により、道路、水道、電気などのインフラ設備や一般家屋が広域にわたり壊滅的な被害を受けました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々には心よりご冥福をお祈り申し上げます。

インフラ復旧は徐々に進んでいるものの、倒壊家屋の解体が進まず、立て直しも出来ず、まして収入の少ない高齢者にとって再建は絶望的のようです。水道が復旧しないために避難所生活を続けている人も多数いらっしゃいます。

避難所(一次・二次・福祉・自主)

そこで災害対策基本法により市町村に義務付けているのが、災害直後に開設される一次避難所です。その場所で宿泊生活をする人もいれば、給水や食料、生活物資の配給場所にもなります。

避難が長期になると、自宅や仮設住宅への入居が始まるまでの間、

一次避難所での生活が困難な方のためにホテルや旅館等に開設されるのが二次避難所になります。また、障がいや介護の度合いが高い人には、福祉施設を二次避難所として開設します。

皆様は近くの指定避難所や避難場所がどこにあるかご存じですか。それだけでは収容出来ない時などは、町内会館や自治会館が自主避難所として一次避難所の機能をしなければならなくなります。

自主防災組織・防災計画

そのためには会館で気持ちよく生活できる避難所運営が機能するように、自主防災組織・防災計画をもとにして、防災訓練等で会員が共通理解をしておく必要があります。

命と生活を支援する町内会・自治会

今後、町内会・自治会として各地の取り組みを学び、災害を最小限に食い止めるにはどうしたらよいか、災害が発生したらどうするか、避難者にどう対応するか等、会員に「見える化」して共通理解をし、知恵を出し合い協力し合っていきましょう。

防災・安心地域委員会の 視察研修会に参加して

下代継町内会 平野 吾一

2月22日(木)、防災・安心地域委員会が主催した視察研修会に参加する機会をいただき、埼玉県春日部市にある「首都圏外郭放水路」を見学してきました。この放水路は、国道16号の地下50mにある総延長6.3kmの世界最大級の放水路で、平成5年に工事に着手して平成18年に完成しました。この地下放水路が完成してからの治水効果は目覚ましく、中川や綾瀬川流域の浸水被害が大幅に減少したそうです。私たちは長さ177m、幅78m、高さ18mの調圧水槽(地下神殿)を見学しました。今までに一番多く放水路に水が入ったのは



平成27年の台風17・18号の時で、約1,900m³(東京ドーム15杯分)だったそうです。この中川、綾瀬川流域は大雨のたびに浸水被害を繰り返して

きたのは、もともと皿のような地形で水が溜まりやすかった上に、昭和30年代からの急速な都市化で流域に多くあった遊水・保水の効果のある田畑等が失われたことも大きな要因だそうです。あきる野市には、まだ田畑があり洪水の被害もめったにありませんが、令和元年の台風19号の時は大きな被害がありました。災害は地震だけでなく水害もあります。災害に対する備えは町内会・自治会の重要な課題でもありますので、これからも積極的に取り組んでいきたいと思いました。



こんな『ふれあいサロン』を行っています

大上自治会ふれあい代表 夏原 芳男

大上自治会での『ふれあいサロン』は、他地区との活動内容が異なり、家庭への訪問確認や誕生日での訪問行事をしておりません。毎月第3金曜日の午後会館に来ていただきお茶飲み会や、日本昔話を聞く会や、唱歌、カラオケなど例会として行ってます。



3月の例会では、お昼の時間に合わせてお弁当を頂きお酒を楽しみながら(会費を頂いて実施)昼食付での日本舞踊を楽しむ会としました。

ちょっと外出でなく、近くの会館でお昼を食べながら、日頃見る機会の少ない日舞を目の前で鑑賞して、お昼のお弁当に満足しながら、ちょっとお酒をめし上がり気分最高で盛り上がりました。

日舞は自治会内でやっている方と、日舞の指導者で藤影流2代目 亀井恵子先生に来て頂きました。会館の舞台にてそれぞれ2曲ずつ踊っていただき、感激の一時!!

即席でステージに立った『寛一お宮』の二人組は舞台に張り付けたカンニングペーパーを見ながらの演技、、、

これでもかと蹴り飛ばしたり、日頃は見せないしおらしい女性を演じたり、あれ〜だ〜れ!

それには観客も箸が止まり舞台に釘付けで、笑い声絶えない一時でした。

参加された方が久しぶりに笑ったと笑顔に満ちた午後の一時でした。



編集後記

私たち広報部会は、令和4年の第48号から担当してきましたが今回の第55号が最後の担当になります。この会報は年4回の発行ですが、何とか発行を果たすと、すぐ次の号の発行があつて、いつも宿題を抱えているような、何となくすっきりしない、開放感のないような部会だなと感じていました。特に夏原部会長のご苦労は大変なものだったのではないかと思います。

この会報は町内会・自治会連合会が、どのような活動をしているのかについて、知っていただくことと、それぞれの町内会・自治会が具体的に、何を思い、どのような活動をしているのか等についてお伝えすることが目的です。そこで、広報部会ではどのような記事を掲載したらいいのか等について、いろいろと話し合う機会がありました。その中で、それぞれの地域や町内会・自治会の実情や悩み等について率直な意見交換が行われました。私は悩んでいるのは自分たちだけではないんだと励まされました。また、活動内容や方法等で多くの示唆をいただくことができました。皆さん、会員の減少や高齢化、役員を引き受けてくれる人がいない等の悩みや苦勞を抱えながら、会員の皆さんが楽しめる行事を企画したり、安心・安全な地域にするために防災訓練等に取り組んでいることがわかりました。

もしかすると、今が町内会・自治会の大きな変革期の最中かもしれません。そのような時に、会報を通じて現状や課題を共有化できたら素晴らしいことだと思いました。

広報部会 平野 吾一